

# 四万十市、宿毛市、三原村が連携し、 ダム等を活用した地域振興活動をスタート ～第1回 ダム利活用調整協議会を設立～

中筋川ダム及び横瀬川ダム等を活用した地域振興や防災教育等の地域活動に関する調整や自立的・持続的活動を支援し、地域の活性化に資することを目的とした、「第1回 ダム利活用調整協議会」を開催。

## 記

- 日 時 : 令和元年7月1日(月) 16時00分～17時15分
- 場 所 : スワロー会館2階(宿毛市平田町戸内)
- 議事内容 : 別紙、議事次第(案)のとおり

近年、ダム等のインフラそのものを地域固有の観光資源として活用する「インフラツーリズム」への注目が高まっています。

中筋川ダムでは平成11年度から「蛸湖まつり」を開催し、毎年多くの来場者を迎える地域のイベントとして親しまれてきました。

一方、中筋川ダム完成以後20年を経過した現状においては、ダム活用に関する地域のニーズや地域振興に係る情勢が変化しています。

このため、横瀬川ダムの完成を予定しているこの時期に2ダム等を利用する新たな枠組みとしてスタートするものです。

令和元年6月24日

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所

本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 観光活性化プロジェクト」の取組に該当します。

(問い合わせ先)

国土交通省 四国地方整備局 中筋川総合開発工事事務所

電話:0880-66-2501(中筋川ダム管理庁舎)

副所長(技術) 森本 修三

○管理課長

宮崎 泰典

○主な問い合わせ先

(参考)

# 【中筋川ダム及び横瀬川ダム等を活用する新たな枠組み】

四国地方整備局中筋川総合開発工事事務所

## これまでの検討経緯

■ 四万十川支川中筋川流域には、既設の中筋川ダム及び建設中の横瀬川ダム（2020年度管理開始予定）があり、両ダム周辺には様々な観光資源があることなどから、年間を通じて多くの方が来訪。

■ 平成29年度から「中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会」を設立、2ダム等を活用した地域振興、防災教育等の活動方針について検討。

### 検討メンバー

○ 蛍湖まつり実行委員会

・ 蛍湖まつり実行委員会会長

○ 四万十市

・ 四万十市まちづくり課

・ 中村商工会議所

○ 宿毛市

・ 宿毛市商工観光課

・ 宿毛商工会議所

○ 三原村

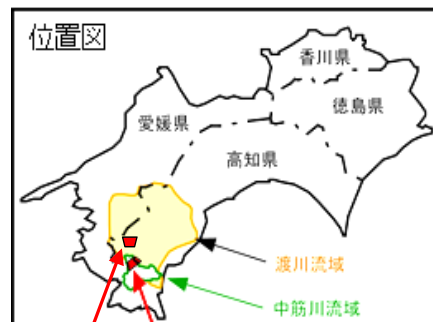
・ 三原村地域振興課

・ 三原村商工会

○ 国土交通省 中筋川総合開発工事事務所(事務局)

■ 2ダム等を活用した主な活動方針（検討結果）

- ・ ダムを活用するための「活動の枠組み」をつくる。
- ・ 地域にメリットのある持続可能な活動とする。
- ・ 魅力あるダム利活用とする。
- ・ ダムについて理解を図る活動とする。



中筋川ダム  
横瀬川ダム(建設中)



▲ 検討会状況

## ダム等を活用した地域活動の枠組み

### ダム利活用調整協議会

『ダム利活用調整協議会(仮称)』委員

四万十市長、宿毛市長、三原村長、四万十市教育長、宿毛市教育長、三原村教育長、中村商工会議所会頭、宿毛商工会議所会頭、三原村商工会会長、四国地方整備局中筋川総合開発工事事務所長

支援・調整



情報共有・意見交換

### ダム活元気ネットワーク(仮称)

※開催回数: 毎年数回程度開催予定とする。

#### 【構成(官学民)】

○ 地域の活動家(活動主体含む)、行政、教育委員会、商工会、観光協会、各種団体、地元代表者 等

#### 【活動】

- ・ 年間活動計画の検討
- ・ 年間活動予算の管理
- ・ 地域活動の実施
- ・ 地域活動の支援
- ・ 広報 等

支援

### 【活動主体】

地方公共団体

各種団体

民間事業者

日時：令和元年7月1日 16：00～17:15

場所：スワロー会館 2階

## 「第1回 ダム利活用調整協議会」

### 議 事 次 第 (案)

1. 開 会
2. 主催者あいさつ
3. 「ダム利活用調整協議会」委員紹介
4. 「ダム利活用調整協議会」設立趣旨説明
5. 規約の説明・承認
6. 会長の選出
7. 会長あいさつ
8. 議 事
  - ① これまでの経緯
  - ② ダム利活用調整協議会の運営について
  - ③ ダムを活用した地域活性化活動の全国事例紹介
  - ④ 令和元年度のダム利活用年間計画（案）について
  - ⑤ その他
9. 次回の協議会開催予定
10. 閉 会

## 「ダム利活用調整協議会」の設立趣旨について(案)

### 1. 設立趣旨

中筋川ダムは、平成6年4月「地域に開かれたダム」の認定を受け、平成7年11月に周辺市町村及び関係機関、学識経験者等により「中筋川ダムの未来を考える会」を設立。同会では、中筋川ダムを地域の交流拠点として位置づけ、イベント開催の場、体験学習の場、様々な情報発信基地等として利用して地域活性化を図り、来訪者に対して森林やダム河川等の重要性をPRし、治水、利水事業に対する理解を深める活動を行ってきました。

また、平成11年からは「中筋川ダムの未来を考える会」の幹事を中心として「蛍湖まつり実行委員会」を組織し、これまで23回の「蛍湖まつり」を開催、毎年1000人～2000人の来場者を迎える地域のイベントとして親しまれてきました。

ダム完成以後20年を経過した現状においては、ダム活用に関する地域のニーズや地域振興に係る情勢が変化してきていること。また、現在、建設中の横瀬川ダムも本年度の完成を予定していることから、今後は中筋川ダムだけではなく、2ダム等を活用した新たな取組みについて検討する必要性があり、平成29年度から関係自治体、地元経済団体、ダム管理者等により「中筋川ダム群を活用した地域活動に関する検討会」を開催し、検討を進めてきました。

その結果、2ダム等を活用した地域振興及び防災教育の地域活動について、自立的・持続的活動を支援・調整することを目的とした「ダム利活用調整協議会」を設立することとなりました。

また、具体的な活動の検討及び実施、支援する地元活動組織として「ダム活元気ネットワーク（仮称）」を設立し、蛍湖まつりをはじめ、今後の地域活動について検討していく予定としています。

●ダム利活用調整協議会 出席予定者

- ・ 四万十市長
- ・ 宿毛市長
- ・ 三原村長
- ・ 四万十市教育長
- ・ 宿毛市教育長
- ・ 三原村教育長
- ・ 中村商工会議所会頭
- ・ 宿毛商工会議所会頭
- ・ 三原村商工会会長
- ・ 四国地方整備局中筋川総合開発工事事務所長